



【国宝】風神雷神図屏風(部分) 俵屋宗達筆 江戸時代・17世紀 京都・建仁寺蔵

開山・栄西禪師
800年遠忌
特別展

栄西と建仁寺

2014年3月25日(火) — 5月18日(日)

会場: 東京国立博物館 平成館 [上野公園]

開館時間: 午前9時30分～午後5時

※会期中の金曜日は午後8時まで、土・日・祝休日は午後6時まで開館 ※入館は閉館の30分前まで

休館日: 月曜日

※ただし4月28日(月)、5月5日(月・祝)は開館、5月7日(水)は休館

主催: 東京国立博物館、建仁寺、読売新聞社、NHK、NHKプロモーション

協賛: ジェイティービー、日本写真印刷

協力: あいおいニッセイ同和損害保険

お問い合わせ: 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

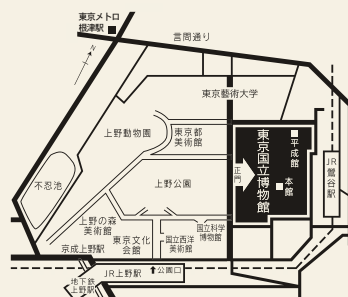
展覧会公式ホームページ: <http://yosai2014.jp/>

中学生以下は観覧無料です。

日曜美術館

Eテレ毎週日曜日: 午前9時～午前10時
(再) 翌週日曜日: 午後8時～午後9時

※アートシーンのみ朝の放送と同一



TNM 東京国立博物館
TOKYO NATIONAL MUSEUM

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

・JR上野公園駅・鶯谷駅南口より徒歩10分

・東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅、東京メトロ千代田線
根津駅、京成電鉄京成上野駅より徒歩15分

このジュニアガイドは、特別展「栄西と建仁寺」の鑑賞の手引きとして小学校高学年から中学生を対象に作成しました。

執筆: 東京国立博物館 川岸潮里

制作: 東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション

編集: 広隆社 / デザイン: PAD

イラスト: 田部井ゆい子 (RAM)

とく べつ でん
特別展
かい さん よう さい ぜん じ
開山・栄西禪師
800年遠忌

しら がく しゅう
調べ学習!

ジュニア
ガイド

よう さい けん にん じ
栄西と建仁寺



…あれ!?

栄西って誰だっけ?

と思ったみなさん、栄西は教科書にも登場する平安時代から鎌倉時代に活躍したお坊さん。日本に禅宗(臨済宗)を広めたのも栄西です。

…ようさい? えいさい?

栄西の読みは「ようさい」も「えいさい」もどちらも間違いではありません。

この展覧会では、建仁寺で使われている「ようさい」という読み方を使います。建仁寺のお坊さんが書いた本の写しに「イヤウサイ」と読みがながふられているからです。これによって建仁寺では「ようさい」と読むことができました。

さあ、栄西と栄西をめぐる文化について一緒に勉強しましょう!

みなさんの年齢のころ、
私は何をしていたかな?
私が住んだり、出かけた
りした場所を地図で確認
してみよう!



このジュニアガイドの
案内役ようさいさん



※①～⑤は右の年表に
関連する場所です。

明庵栄西坐像 鎌倉時代・13～14世紀 神奈川・寿福寺蔵

栄西の一生をチェック!

栄西が生きた時代はどんな時代だったのかな?

教科書や本で調べてみましょう!

- 1124年 中尊寺金色堂が建てられる
- 1141年 備中国(いまの岡山県)に生まれる(1歳) ①
- 1148年 仏教を父から習い始める(8歳)
- 1151年 お寺で仏教の勉強を始める(11歳)
- 1154年 比叡山で出家(14歳) ②
- 1156年 保元の乱
- 1158年 虚空蔵求聞持法の修行をやり遂げる(18歳)
- 1159年 平治の乱
- 1168年 はじめての中国留学(28歳)
- 1185年 平氏が滅びる
- 1187年 2回目 中国留学(47歳)
- 1191年 日本へ帰国(51歳)
- 1192年 源頼朝、征夷大將軍になる
- 1195年 福岡に聖福寺を建てる(55歳) ③
- 1198年 『興禅護国論』を書く(58歳)
- 1199年 頼朝死去
- 1200年 鎌倉の寿福寺の開山になる(60歳) ④
- 1202年 京都に建仁寺を建てる(62歳) ⑤
- 1205年 新古今和歌集成立
- 1206年 東大寺再建の2代目責任者になる(66歳)
- 1211年 『喫茶養生記』を書く(71歳)
- 1215年 死去(75歳)
- 1221年 承久の乱

※青い文字が栄西のできごと、黒い文字が日本の歴史です。

特徴は大きな頭

驚異的な記憶力を手に入れられる虚空蔵求聞持法の修行をやり遂げると、身長が12センチメートル伸びて、てっぺんが平らな、大きな頭になったそうです。



建仁寺を建てた

栄西はいろいろなところにお寺を建てました。福岡の博多に建てた聖福寺は日本で最初の禅のお寺。鎌倉の寿福寺は源頼朝の妻・北条政子が開いたお寺。政子に信賴されていた栄西は、寿福寺の最初の住職(開山)になりました。そして62歳のときに建てたのが建仁寺です。



日本ではまだ広まっていなかった禅宗を、昔からあった仏教が根づいていた京都で広めるのは大変でした。鎌倉幕府2代將軍頼家の協力で、京都の鴨川の東、祇園に建仁寺が建てられました。建仁寺にはたくさんの宝物が伝わっています。

栄西とお茶の関係を調べよう！

お茶を日本に根づかせたのは誰でしょう？ 千利休？

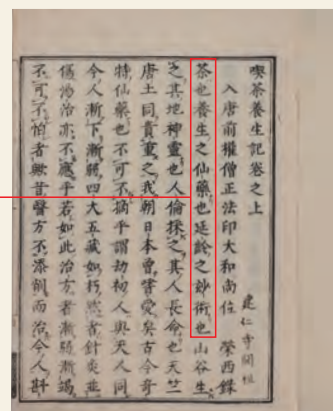
実は千利休よりもっと前、鎌倉時代に日本にお茶を広めた人物がいます。

それが栄西。だから栄西は茶祖と呼ばれています。教科書でおなじみの日本文化「茶の湯」も、栄西がいなければなかったかもしれません。

● 喫茶養生記

お茶の栽培方法、お茶のいれ方、お茶の効果について栄西が書いた、日本で最初のお茶の本。

「茶也養生之仙薬也延齡之妙術也」と書いてあります。
お茶は体に良く寿命を延ばしてくれるものだ、という意味です。



喫茶養生記(再治本) 栄西著
江戸時代・元禄7年(1694) 京都・両足院蔵

お酒が大好きで二日酔いになってしまった鎌倉幕府の3代将軍源実朝に、お茶と『喫茶養生記』をプレゼントしたんじゃないよ。



● 中国で使われていた道具

お茶に使われた道具、ほかにどんなものがあるか調べてみましょう！



粉にしたお茶を入れる器

「茶入」

肩衝茶入 銘「残月」中国・12世紀 文化庁蔵



お茶をたて、飲むための器

「天目茶碗」

重要文化財 油滴天目茶碗 中国・12～13世紀 九州国立博物館蔵



お茶室に香りをただよわせる

「香炉」

青磁貼花牡丹唐草文三足香炉 中国・14世紀 京都・霊洞院蔵

● 四頭茶会

茶祖・栄西の誕生日をお祝いし、栄西の姿を描いた絵を掛けて毎年行われる特別なお茶会。

茶道の原型とされるもの。抹茶を入れて天目台にのせた茶碗を客が持ち、そこに4人の僧が湯を注ぎ、お茶を点ててまわります。



建仁寺方丈における四頭茶会の様子

建仁寺の近くにある六道珍皇寺に伝わる彫刻が、展覧会場に！

平安の大男、あらわる！ 一体、何者？

『今昔物語集』や『宇治拾遺物語』にも登場する平安時代の貴族・小野篁(802-852年)の姿です。実際に篁は身長六尺二寸(約188cm)の大男でした。毎晩死後の世界に出かけ、閻魔様の裁判を手伝っているという噂があり、恐れられていたそうです。一方、漢詩や和歌も得意で、百人一首の「わたの原 八十島かけて こぎいでぬと 人には告げよ あまのつり舟」も篁の歌です。



小野篁立像 江戸時代・元禄2年(1689)頃 京都・六道珍皇寺蔵

建仁寺に伝わる有名絵師ふたりの 作品を鑑賞しよう!

海北友松と俵屋宗達はともに有名な絵師。

友松の「雲龍図」は、部屋をしきる襖に描かれたもの。

宗達の「風神雷神図屏風」は、二枚折りの屏風絵です。

屏風は風除けや間仕切りに使われた家具でもありました。

どちらとも建仁寺の大切な宝物です。

じっくり見て、感想をみんなで話しあってみましょう!



この絵の世界ではどんな音やにおいがするだろう? 龍のからだはどうなっているだろう? 何をにらみ、どこに向かっているのだろう? 想像してみよう。



建仁寺本坊方丈礼之間の様子

【重要文化財】 雲龍図(部分) 海北友松筆 安土桃山時代・慶長4年(1599) 京都・建仁寺 【4月22日(火)～5月6日(火・休)は全8幅、その他の会期は4幅を展示】



たわらやそうたつ 俵屋宗達(生没年不詳)

宗達の生涯は、ほとんどわかりませんが、斬新な構図と色づかいの絵を描いた江戸時代初期の絵師です。

かいほうゆうしょう 海北友松(1533～1615年)

友松は安土桃山時代から江戸時代にかけ活躍した絵師。建仁寺の方丈の他の襖絵も友松の作品です。

【展示室でのマナー】

- メモを取るときはエンピツで。
- 展示室では走らない。
- 話すときは静かな声で。
- 作品にさわらない。



【国宝】 風神雷神図屏風 俵屋宗達筆 江戸時代・17世紀 京都・建仁寺蔵



風神雷神図屏風は宗達の代表作品じゃよ! どちらが風神でどちらが雷神かわかるかな? そう、風の入った袋を持っているのが「風神」(右側)、雷の音をだすという太鼓を持っているのが「雷神」(左側)じゃ。

